4．デモンストレーション競技

■基本方針

- 府県政令市実行委員会は、国外からの参加者に考慮しながら、公式競技に準じて円滑な競技運営を行う。
- 公式競技と一体的に実施することで、大会全体を盛り上げ、すべての世代のスポーツ活動への参加を促進する。

■実施競技の選択

実施競技は、次の事項に基づいて総合的に検討し、選択する。

- 公式競技以外の競技であること。
- 開催地域府県市の体育協会に加盟している競技（種目）又は同協会が推薦するスポーツレクリエーション団体等の競技（種目）であること。
- 国内的に普及し、生涯スポーツの普及及び振興の一翼を担う競技として、次のうち１つ以上を満たしている競技（種目）であること。
    - 国内と関西圏におけるマスターズ関連スポーツ大会の開催実績のある競技（種目）であること。
    - 競技種目の開催が可能な関西圏内の会場・エリアの存在と大会開催実績のある競技（種目）であること。
    - 日本開催・関西らしさをPRできる競技（種目）であること。

■競技会場の選定

次の基準をもとに総合的に判断し、選定する。

- 同一競技（種目）を複数の地域に分けて実施する場合は、それぞれの地域の大会運営に支障をきたさないこと。
- ワールドマスターズゲームズ2021関西大会の開催に熱意があり、開催競技（種目）をはじめとする各種競技（種目）の大会後の振興に積極的に取り組む意欲を有すること。

■実施期間及び実施方法

- 実施期間、実施方法及びその他の必要な事項は、別に定める。

4. デモンストレーション競技

■業務分担表

項目		業務概要	組織委員会	実行委員会
実施競技及び会場地の選定		デモンストレーション競技実施要領に従い、各府県政令市実行委員会の届出内容を精査し、実施競技及び会場地を登録	◎	－
開催準備業務	競技別実施要項の作成	府県政令市実行委員会は、府県競技団体と協議しながら、競技別実施要項(案)(日本語版・英語版)作成に必要な日程、会場、種別及び参加人員、競技上の規定及び方法、選考方法、参加資格、表彰、参加申込み方法、参加料、参加上の注意等を検討、決定し、組織委員会に提出	○	◎
	競技別プログラムの作成	参加者受付業務及び組合せ作成は府県政令市実行委員会・府県競技団体が行い、必要に応じて競技別プログラムを作成し、組織委員会に提出	－	◎
	メダル等の制作	府県政令市実行委員会は、必要に応じてメダル等を制作	－	◎
	競技役員等の編成	府県政令市実行委員会及び府県競技団体は、競技運営に万全を期するよう競技役員等の適正な編成を実施	－	◎

■スケジュール

スケジュール	内容
2017年	
	【実 行】　デモンストレーション競技届出（～2018年）
	【組 織】　デモンストレーション競技決定（～2018年）
2018年	
	【実 行】　競技別実施要項の作成（～2019年）
	【組 織】　競技別実施要項の取りまとめ（～2019年）
2019年	
	【実 行】　競技別実施要項の公開
2020年	
	【実 行】　デモンストレーション競技参加申込、 競技別プログラム・メダル等制作、競技役員等編成等
	【組 織】　競技別プログラム取りまとめ
2021年	**ワールドマスターズゲームズ2021関西**

5. 開閉会式

■基本方針

開閉会式は、大会期間の中でも多くの大会参加者が集まる場であり、関西・日本の優れたコンテンツを世界へ発信することのできる絶好の機会と捉え、プログラムの検討を進める。

また、過去の大会では、一般参加型の大会ならではの大会参加者交流を重視した演出がなされており、本大会においてもその精神を受け継いだプログラムと環境を提供していくとともに、国外の大会参加者や障がい者など多様な方が快適に参加できる環境を整備する。

■業務内容

1　開催会場・開催時間の決定

府県政令市実行委員会は、2017年オークランド大会の実施内容を踏まえ、式典開催会場、開催時間及び実施概要案（参加人数規模、会場使用レイアウトなど）を提案する。

組織委員会及び府県政令市実行委員会は、全体計画に照らし合わせて、式典開催会場、開催時間及び実施概要案の協議・調整を行い、組織委員会理事会において承認する。

2　式典指針及び式典コンセプトの決定

組織委員会と府県政令市実行委員会は、式典指針及び式典コンセプト案を共同で作成する。

3　実施準備業務

式典指針及び式典コンセプトに基づき、会場利用や式典演出、輸送などの各種の計画作成や、警備・警護に係る手配、備品の調達、会場及び周辺施設等との調整などを行う。

⑴　会場関係　府県政令市実行委員会は会場確保、会場利用計画、会場装飾計画、場内外サインや備品手配、関係施設との調整等設営・撤去、実施に伴う業務を行う。

⑵　VIP来場関係　組織委員会及び府県政令市実行委員会は、招待者リストの作成及び招待状発送業務を行う。招待者リストの最終的な集約および招待状の作成は府県政令市実行委員会が行う。

⑶　演出関係　府県政令市実行委員会は台本制作及び演出備品等の手配等、式典の進行を実施。組織委員会及び府県政令市実行委員会は演出計画及び出演者の手配・調整を行う。

⑷　運営計画　府県政令市実行委員会は来場者の動線や輸送、警備・警護等の誘導計画の策定、運営マニュアルの作成を行う。また、会場周辺施設・住民等への理解及び配慮、各種交通機関との渉外等の調整を行う。VIP輸送計画、式典本部の運営については、組織委員会と府県政令市実行委員会が調整を行い、対応する。

⑸　PR関係　組織委員会はプレス関係者の招待及び受付対応、メディア・リリースを行う。ローカルメディアの招待のみ、府県政令市実行委員会で対応。また組織委員会及び府県政令市実行委員会は広報活動、大会公式ホームページの運営、撮影・記録に関する業務を行う。

⑹　安全対策　組織委員会及び府県政令市実行委員会は大規模災害対策及びテロ対策計画を策定する。府県政令市実行委員会は出演者や入場者の安全対策、救護スペースの運営、医療品等の配備、周辺医療機関との連携体制の構築等を行う。

5. 開閉会式

（参考）開会式及び閉会式の必須プログラム

- **開会式**
  - 最大３人によるオフィシャルスピーチ
  - 選手又は選手の代表陣による行進、またはその他の方法による参加
  - IMGA旗の掲揚
  - 開会宣言
  - 選手宣誓
  - 開催地域の文化・歴史的要素を含む演技項目
- **閉会式**
  - オフィシャルスピーチ
  - IMGA旗の降納
  - 次回主催都市への引き渡し
  - 次回主催都市のスピーチ
  - 閉会宣言
  - 選手退場
  - 開催地域の文化・歴史的要素を含む演技項目
- **その他推奨事項**
  - 選手行進は、国別ではなく競技別に実施
  - 一般観衆者は有料、選手・同伴者・審判員・ボランティアは無料
  - 主催国の国家演奏、参加選手国の国旗の掲揚は自由
  - 選手による国旗、チーム旗を揚げての行進を推奨

■役割分担

府県政令市実行委員会（開会式…京都市、閉会式…大阪市）は、会場利用計画、運営計画の作成や会場確保、設営など式典準備に関する業務を担当する。

組織委員会は、府県政令市実行委員会と連携してVIP来場関係、演出関係、PR関係、安全対策の一部業務を行うほか、式典運営における役割分担の確認・進捗状況のスケジュール等の管理を行う。

また、式典の開催会場や式典指針、式典コンセプト及び式典の演出等は、組織委員会と府県政令市実行委員会が共同で行い、項目によっては組織委員会が運営する理事会の承認事項とする。なお、承認が必要な事項については別途決定するが、現状では以下案のとおりとする。

組織委員会及び府県政令市実行委員会の協議は、それぞれの担当者同士の打合せ又は連絡協議会で行う。

（参考）組織委員会の承認が必要な事項（案）

- 開催日時
- 開催会場
- 式典指針、式典コンセプト
- VIP、IMGA等の来賓対応計画
- 府県市、競技団体、協賛社等の出展者計画

5. 開閉会式

■業務分担表

項目	業務概要	組織委員会	実行委員会
基本方針	式典指針・コンセプト	◎	◎
	開催会場・開催時間決定	◎	◎
	各式典ごとの予算決算に関すること	－	◎
	入場方法の検討について	◎	◎
	式典に関するコールセンターの運営について	－	◎
会場関係	開閉会式会場の確保	－	◎
	会場利用計画	－	◎
	会場装飾計画（場内外サイン・備品等含む）	－	◎
	設営・撤去計画	－	◎
VIP来場関係	IMGA関係者・主催者関係者・共催者関係者	◎	－
	府県政令市実行委員会関係者	－	◎
	協賛社関係	◎	◎
	招待者リストの最終集約	－	◎
	招待者案内（招待状）作成	－	◎
	招待者案内（招待状）発送/大会参加者リスト集約	◎	◎
	大会参加者リストの最終集約	－	◎
演出関係	式典実施計画	－	◎
	演出計画	◎	◎
	台本制作・演出備品手配	－	◎
	実施進行	－	◎
	出演者手配・調整	◎	◎
	式典リハーサルに関すること	－	◎
運営計画	来場者導線計画	－	◎
	輸送計画	－	◎
	場内外警備・警護、誘導計画、交通規制に関する計画	－	◎
	運営ボランティア、スタッフ確保	－	◎
	運営マニュアル作成	－	◎
	VIP輸送計画、駐車場計画	○	◎
	式典本部の運営について	○	◎
	会場周辺住民への理解及び配慮、各種交通機関との渉外	－	◎
	入場制限について	－	◎
PR関係	プレス関係者招待（府県政令市実行委員会はローカルメディア対応）	◎	○
	プレス関係者受付・対応	◎	○
	メディアリリース	◎	－
	広報活動について	◎	◎
	式典にかかる大会公式ホームページ運営について	◎	◎
	撮影・記録について	◎	◎
安全対策	大規模災害対策計画	◎	◎
	テロ対策計画	◎	◎
	医療救護対策	－	◎
	出演者及び入場者の安全対策について	－	◎
	救護スペース運営・周辺医療機関との連携	－	◎
	会場エリア内の入場規制の運用について	－	◎

■スケジュール

スケジュール	内容
2017年度	
	【共 通】　開催会場･開催時間の決定
2018年度	
	【共 通】　式典指針及び式典コンセプトの決定
2019年度～	
	【共 通】　実施準備業務(式典演出などの各種の計画作成など)
2021年度	**ワールドマスターズゲームズ2021関西**

6．交流の場づくり

■基本方針

ワールドマスターズゲームズでは、大会参加者同士や地域住民との『交流』を楽しむ大会でもあり、過去の大会でも交流の場の充実が大会評価の大きな要素となっていることから、本大会においても交流の場の提供を重視し、積極的に取り組む。

広域開催である本大会においては、各開催地域への大会参加者の分散化が進むことから、これまでの大会でみられたような大会期間を通して一つの拠点に交流の場を置くという方法では交流が進まないうえ、各開催地域の盛り上がりや経済効果も期待できない。そのため、多くの大会参加者が集まることのできるメインの交流拠点を関西の交通要所に設置するとともに、各開催地域内においても交流ができるよう、地域の飲食店との提携やイベントの開催など大会参加者のニーズを捉えて様々な交流の機会を創出していく。

■業務内容

１　宿泊・交通・交流の場に関する府県政令市実行委員会の考え方・意向の調査

・府県政令市実行委員会は、競技会場までの交通輸送や大会参加者の宿泊に関する考え方など開催地域における各種施策を勘案した上で、大会参加者交流の仕組みを検討する。
・組織委員会は、府県政令市実行委員会の考え方・意向を確認し、必要な調整を行う。

２　交流の場の企画

・組織委員会は、府県政令市実行委員会と協議の上、地域飲食店との提携方法など統一的な実施が必要なものについての企画を策定する。

３　交流の場の計画の策定

・組織委員会はメインの交流拠点の企画・運営を、府県政令市実行委員会は各開催地域内の交流拠点の企画・運営を担当する。
・組織委員会及び府県政令市実行委員会は、交流の場の企画も踏まえ、関係各所と調整を行い、参加者申込開始にまでに、以下の項目を含めた交流の場の計画を策定する。
　◇開催内容
　◇開催時期
　◇開催場所
・組織委員会は、府県政令市実行委員会と協議の上、地域飲食店との提携方法など統一的な実施が必要なものについての企画を策定する。
・交流の場は、参加者申込開始以降についても、随時追加できるものとする。

４　広報

・組織委員会及び府県政令市実行委員会は、参加者申込開始時に合わせて各広報ツールで交流の場等の概要を発表する。
・大会開催までの期間、随時広報を行い集客を図るとともに、開催期間中も大会公式ホームページ・SNSを活用し、盛り上げに寄与する取り組みを行う。

５　実施準備

・運営マニュアルの作成、ボランティア募集、設営・撤去計画などの開設準備や、大会オフィシャルガイドブックへの掲載など、実施に向けた準備を進める。

6．交流の場づくり

■交流の場所の考え方及び役割分担

⑴　組織委員会が設置する交流の場

①オープニングビレッジ、センタービレッジ

開会式会場付近に設置するオープニングビレッジや大会中のメイン受付会場となるセンタービレッジを、大会のメインの交流拠点として位置づけ、交流機能を充実させた環境とする。

⑵　府県政令市実行委員会が設置する交流の場

①各開催地域内での交流の場の設置

設置場所、設置数や設置期間は府県政令市実行委員会において決定するものとするが、競技実施期間中は多くの選手が開催地域内で滞在すると考えられるため、交流の場の提供を積極的に行う。

また、設置場所の選定においては、人通りの多い場所など地域住民の参加も見込める場所にすることや、会場が複数に分かれている場合は多くの大会参加者が集まりやすい場所にするなど、各会場の周辺環境を十分に考慮する。

②開閉会式会場

開閉会式会場では多くの大会参加者が集まるため、大会参加者交流を重視した演出や環境を整備する。

⑶　各開催地域内での交流の場の展開方法

従来大会での交流の場では飲食スペースの前方にステージが設置されており、音楽演奏などを鑑賞しながら、飲食を楽しむ光景が見られた。

本大会では、過去の大会や2017年オークランド大会を参考にしつつ、各地域が独自の趣向を凝らして大会や各地域、関西の魅力を体験していただける交流の場を提供する。

（展開例）

・常設の広場の設置

大会参加者だけでなく、ボランティア、地域住民も含め誰もが参加できるスペースを提供し、地元郷土料理のふるまいやステージでの催しなどを行う。また、パブリックビューイング等を活用し、他エリアの交流の場の風景を中継するなど大会全体の盛り上げ、一体感醸成の企画も検討する。

・地元のホテルとの連携

大会参加者が多く宿泊するホテルで飲食や大画面での試合ハイライトの放映など交流イベントを開催する。大会参加者申込時にイベント開催を広報し、ホテルへの宿泊誘導にもつなげる。

・競技会場に併設

競技会場に飲食ブースや協賛社と連携したブースを併設し、競技終了後に移動することなく交流を楽しめるようにする。

・地域の飲食店との提携

地域の飲食店と提携し、大会参加者が提携店を利用した際に割引や無料サービスを受けられるなど飲食店での交流を活発化させ、大会参加者と地域住民との交流や地域経済への波及などにつなげていく。

＊今後、府県政令市実行委員会との調整を図りながら、組織委員会で企画を策定し、企画内容に基づいて府県政令市実行委員会において提携依頼を行う予定

6. 交流の場づくり

■業務分担表

項目	業務概要	組織委員会	実行委員会
交流の場の企画策定	交流の場の企画策定	◎	○
開催概要の決定	交流の場の開催内容・設置箇所決定、各会場との調整、使用申請(※)	◎	◎
	大会参加者申込開始に合わせた交流の場概要の発表、ボランティアの募集(※)	◎	◎
開設準備	交流の場のマニュアルの策定（※）	◎	◎
	スタッフの確保、安全対策・危機管理対策	◎	◎
	設営手配、ネットワークの構築、備品の調達（※）	◎	◎
	交流の場にかかる広報活動（※）	◎	◎
実施	運営（※）	◎	◎

※組織委員会の業務に関する交流の場（オープニングビレッジ・センタービレッジ）については、組織委員会が担当する。
ただし、スタッフの確保、安全対策・危機管理対策については、実施場所の府県政令市実行委員会（京都市及び大阪市）と連携する。

■スケジュール

スケジュール	内容
2017年度	**上期**
	【共 通】宿泊・交通・交流に関する府県政令市実行委員会の考え方・意向の調査
	下期
	【組 織】交流の場の指針策定
	【組 織】オープニングビレッジ・センタービレッジの設置場所の決定
2018年度	
	【共 通】交流の場の計画策定（開催内容・開催時期・開催場所の決定）（～2020年2月まで）
2019年度	**下期**
	【共 通】広報活動・設置準備
	【共 通】運営マニュアルの策定
2020年度	**上期**
	【組 織】大会公式ガイドブックに掲載
2021年度	**ワールドマスターズゲームズ2021関西**

7. 安全対策・危機管理対策等

■基本方針

大会を安全に開催することが大会運営者の責務とされており、組織委員会及び府県政令市実行委員会は、担当する競技会場及び開閉会式会場において、あらゆる可能性を考察して必要な安全及び危機管理に関する対策を講じる。

対策の立案にあたっては、警察、消防、保健衛生などの関係機関と綿密に連携するとともに、医療救護対策との連携が必要な部分については、十分な調整を行う。

また、大規模災害やテロ対応など広域的な対策が必要になると想定されるものについては、組織委員会及び府県政令市実行委員会が連携して対応する。

■対策内容

他の大規模競技大会を参考に想定される対策は以下のものがある。今後、関係機関と協議を進めて対策を立案する中で、各会場で必要となる対策内容を精査し、実施体制を構築していく。

想定される対策	想定される協力連携機関		組織委員会	実行委員会
	各地域の機関	政府機関		
1．サイバーセキュリティ対策				
☆エントリーシステムへの不正アクセス、改ざん、システム障害	（システム管理作成会社）	内閣官房（内閣サーバーセキュリティーセンター、サイバーセキュリティ戦略）	◎	―
☆エントリー者の個人情報漏洩、改ざん、焼失等			◎	◎
2．安全対策・危機管理対策				
雑踏対策	府県警察本部地域部		○	◎
交通対策	府県警察本部交通部		○	◎
テロ対策（爆破,銃乱射,NBC）	府県警察本部警備部	警察庁	◎	◎
テロ対策（未然防止のための水際対策及び情報収集）		入国管理局、公安調査庁	◎	―
☆大地震、津波、大規模風水害	地元自治体防災危機管理対策担当部署		◎	◎
☆感染症、新種感染症ウイルスの世界的流行	地元自治体保健衛生担当部署	厚生労働省	◎	◎
火災、爆発、危険物事故、事故による化学物質等の漏洩	医療機関・地元消防・地元警察		○	◎
ライフライン事故	地元警察・地元消防・各ライフライン関係機関	国土交通省	○	◎
事故、盗難、誘拐、窃盗、傷害、不審者の侵入等	地元警察・地元消防		○	◎
訪日者の緊急事態		観光庁、外務省、各国領事大使館	○	◎
海外VIPの緊急事態		外務省、各国領事大使館、警察庁、防衛省	○	◎
3．衛生対策				
模擬店舗等での食中毒	保健衛生機関		○	◎
4．大会保険への加入				
☆保険の設計、加入			◎	―

☆は、大会前から対策が必要。

7. 安全対策・危機管理対策等

■業務内容及び実施体制

1　サイバーセキュリティ対策

⑴　エントリーシステムのセキュリティ対策の構築

・組織委員会のセキュリティ技術・監視体制を有するシステム管理作成会社への委託による同対策の構築
・サイバーセキュリティに関するノウハウを有する内閣官房との連携の検討

⑵　エントリー者の情報管理

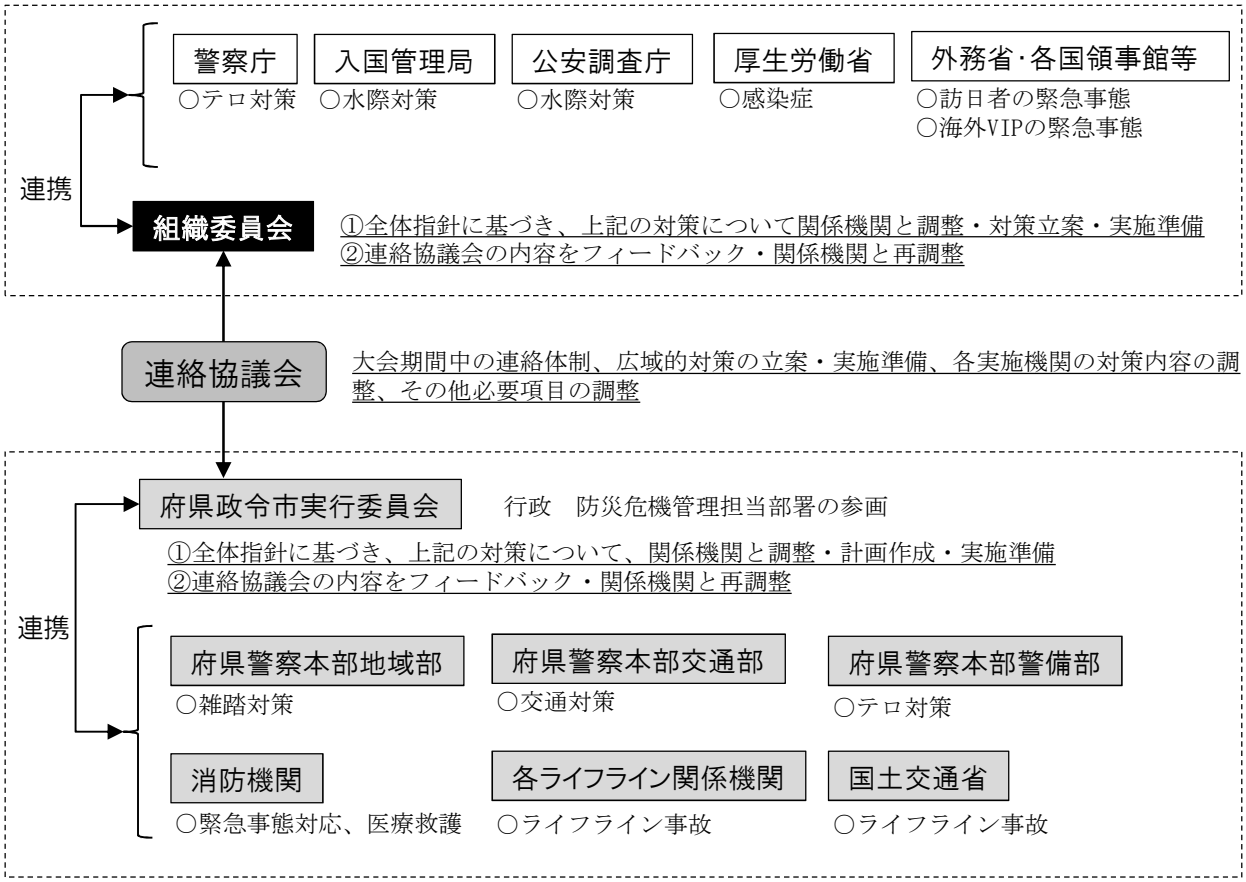
・組織委員会において、情報管理マニュアルの作成、適切な管理者権限の設定
・組織委員会及び府県政令市実行委員会において、担当者へのセキュリティ対策の教育

2　安全対策・危機管理対策

◆　準備段階の推進体制

安全対策・危機管理対策は、各対策が有機的に結びついており、関係機関も重複することから、以下の体制のもとに一括して対策立案等の準備を進める。また、医療救護対策と有機的な連携が図れる体制とする。

府県政令市実行委員会においては、必要に応じて「安全対策・危機管理部会」を設置するなど、関係機関との連携体制を密なものとする。



⑴　関係機関への協力依頼

組織委員会及び府県政令市実行委員会は、準備段階の推進体制図を参考にして安全対策・危機管理対策に係る関係機関に対して協力依頼を行う。

⑵　「全体会議」の開催、対策の全体指針や広域的対策の方向性の決定

2017年度は、組織委員会及び府県政令市実行委員会の事務担当者及び消防・警察などの関係機関が参画する「全体会議」を開催し、安全対策・危機管理対策に係る全体指針や広域的な対策の方向性を検討する。

また、大規模災害やテロによる多数傷病者発生時の対策など安全対策・危機管理対策等と連携が必要な医療救護対策についても合わせて検討できるよう、参画メンバーを調整する。

⑶　各会場の対策内容の具体化、全体調整

2018年度から、組織委員会及び府県政令市実行委員会は、上記の全体指針の決定を受け、関係機関と綿密に連携して、各担当会場における安全対策・危機管理対策の具体化を進める。

また、連絡協議会において、各会場の対策内容に大きなばらつきがでないよう全体調整を図るとともに、広域的な対策の立案・準備や大会期間中の連絡体制について、検討を進める。

⑷　安全対策・危機管理対策運営マニュアルの作成、実施体制の構築、実施準備

2020年度は、組織委員会及び府県政令市実行委員会が以下の運営マニュアルを作成し、それに基づき実施体制の構築や各種の手配等実施準備（スタッフの配置、動員、設営準備、警備の手配、通信機器・備品の調達など）を行う。

①組織委員会が作成する運営マニュアル

・大会全般に係る安全対策・危機管理対策全体運営マニュアル
　…大会当日の連絡体制表、広域的な対策の実施体制　など
・オープニングビレッジ、センタービレッジの安全対策・危機管理対策運営マニュアル

②府県政令市実行委員会が作成する運営マニュアル

・各競技会場及び開閉会式会場の安全対策・危機管理対策運営マニュアルの作成

◆大会期間中の実施体制について

現時点では以下を想定するが、今後準備を進めていく中で、各会場に必要な対策内容・体制を精査し、最良な実施体制を構築していく。

◇組織委員会

・大会全体の統括機関としての安全対策・危機管理対策総合本部の設置
・オープニングビレッジ、センタービレッジにおける安全対策・危機管理対策
（設置場所の実行委員会と連携）

◇府県政令市実行委員会

・各府県政令市における統括機関としての安全対策・危機管理対策本部の設置
・各競技会場、開閉会式会場における安全対策・危機管理対策

3　衛生対策

府県政令市実行委員会は、地域の保健衛生機関と調整し、模擬店舗等において必要な衛生対策を実施する。

4　大会保険への加入

原則として、組織委員会は、想定されるリスクを最大限に低減させるため、費用対効果を考慮しつつ、傷害、賠償（施設、医療等）、興行中止など必要な各種保険に加入する。

補償内容については、連絡協議会において協議を行ったうえで、決定する。

7. 安全対策・危機管理対策等

■役割分担

1　組織委員会の担当業務

・府県政令市実行委員会の対策内容の統括・調整
・広域的な対策の立案、実施体制の構築
・オープニングビレッジ、センタービレッジに係る安全対策・危機管理対策
　＊オープニングビレッジ、センタービレッジの業務については、実施場所の実行委員会と連携

2　府県政令市実行委員会の業務

・各競技会場、開閉会式会場の安全対策・危機管理対策

※連絡協議会において各会場の対策内容の全体調整、広域対策の立案、大会期間中の連絡体制の検討、保険の補償内容の検討、その他必要項目の調整を行う。

※オープニングビレッジ、センタービレッジについては、組織委員会が担当するが、関係機関との連携を効率的に行う必要があるため、実施場所の府県政令市実行委員会が設置する部会に参画するなど、府県政令市実行委員会と連携して進めていく。

■スケジュール

スケジュール	内容	
2017年度	**上期**	
	【組 織】	国等の関係機関への協力依頼
	【組 織】	保険の設計（～2019年上期）
	【実 行】	地域の関係機関への協力依頼
	【共 通】	安全対策・危機管理対策「全体会議」の持ち方検討
	下期	
	【組 織】	エントリーシステムのセキュリティ対策構築（～2019年上期）
	【共 通】	安全対策・危機管理対策「全体会議」の開催
	【共 通】	全体指針、広域的な対策の方向性の決定
2018年度		
	【組 織】	オープニングビレッジ・センタービレッジ会場の対策内容の具体化(実施場所の実行委員会と連携）（～2019年下期）
	【実 行】	関係機関と連携し、担当会場の対策内容の具体化（～2019年下期）
	【共 通】	連絡協議会において各会場の対策内容の全体調整、広域対策の立案、大会期間中の連絡体制の検討、保険の補償内容の検討、その他必要項目の調整（～実施まで）
2019年度		
	【組 織】	参加者申込開始に合わせて保険契約、参加者の情報管理
2020年度		
	【組 織】	実施場所の実行委員会と連携し、オープニングビレッジ・センタービレッジ会場の対策内容の計画作成、実施準備等
	【実 行】	関係機関と連携し、各会場の安全対策・危機管理対策の運営マニュアル作成、実施準備
2021年度	**ワールドマスターズゲームズ2021関西**	

８．医療救護対策

■基本方針

大会を安全に開催することが大会運営者の責務とされており、組織委員会及び府県政令市実行委員会は、担当する競技会場及び開閉会式会場において、あらゆる可能性を考察して必要な医療救護対策を講じる。

対策の立案にあたっては、消防、医療などの関係機関と綿密に連携するとともに、安全対策・危機管理対策との連携が必要な部分については、十分な調整を行う。

また、大規模災害やテロ対応など広域的な対策が必要になると想定されるものについては、組織委員会及び府県政令市実行委員会が連携して対応をする。

■対策内容

他の大規模競技大会を参考に想定される対策は以下のものがある。今後、関係機関と協議を進めて対策を立案する中で、各会場で必要となる対策内容を精査し、実施体制を構築していく。

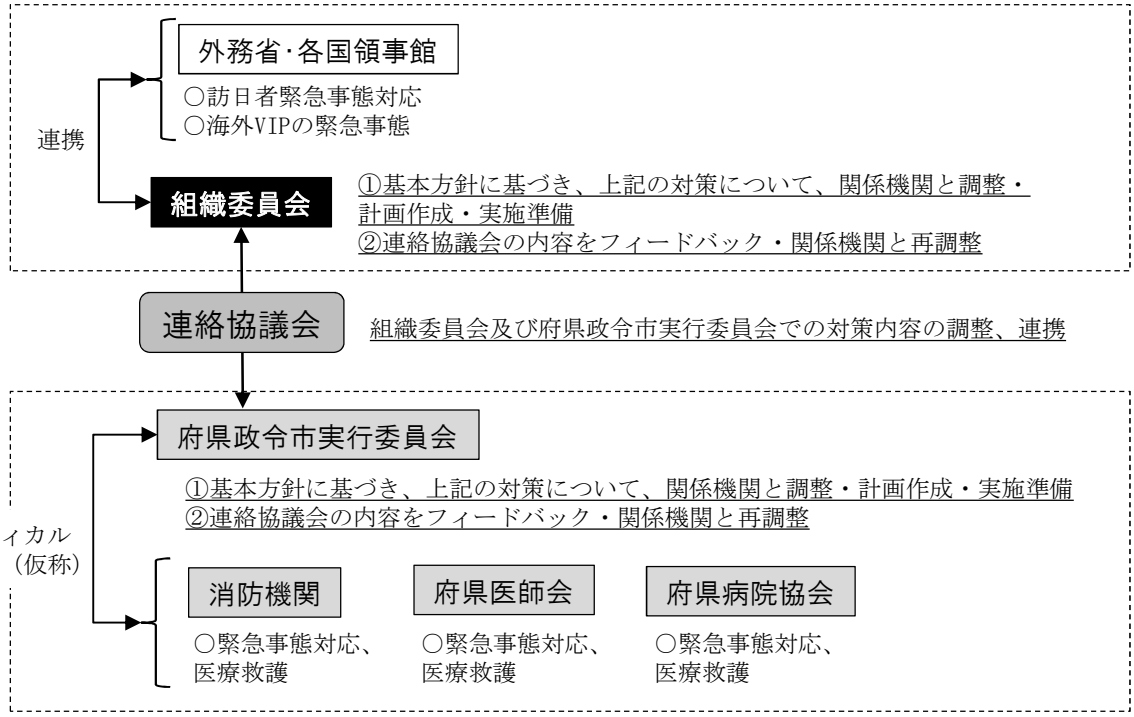
想定される対策	想定される協力連携機関		組織委員会	実行委員会
	各地域の機関	政府機関		
救護（心筋梗塞、熱中症、食中毒等）、救急搬送、多数傷病者発生時の対策	医師会等府県医療機関・地元消防・（救急指定病院）		◎*1	◎
訪日者の救急対応	医師会等府県医療機関・地元消防・（救急指定病院）		◎*1	◎
会場内外での事故	医療機関・地元消防・府県警察本部		◎*1	◎

*1　実施場所の府県政令市実行委員会と連携

■業務内容及び実施体制

◆準備段階の推進体制

・府県政令市実行委員会は、近隣の救急医療機関及び地元医師会等の理解・協力を得て、医師・看護師等の医療スタッフや、医療施設等と効率的に連結融合した医療救護体制を構築する。
・通訳者の配置など海外参加者の傷病発生に対処できる体制を確保する。
・また、安全対策、危機管理対策と有機的な連携が図れる体制とする。
・メディカル部会（仮称）の設置
府県政令市実行委員会は、メディカル部会（仮称）を府県政令市実行委員会に設置するなどして、関係機関と連携して計画作成を進める。



８．医療救護対策

⑴　関係機関への協力依頼

組織委員会及び府県政令市実行委員会は、準備段階の推進体制図を参考にして医療救護対策に係る関係団体に対して協力依頼を行う。

⑵　各会場の対策内容の具体化、全体調整

2017年度から、組織委員会及び府県政令市実行委員会は、次ページの「医療救護対策の基本方針」を踏まえて、メディカル部会（仮称）を設置するなど関係機関と綿密に連携し、医療救護対策内容の具体化を進める。

また、連絡協議会において、各会場の対策内容に大きなばらつきがでないよう全体調整を図るとともに、広域的な対策の連携の検討や安全対策・危機管理対策との必要な連携の検討を行う。

⑶　医療救護対策運営マニュアルの作成、実施体制の構築、実施準備

2020年度は、組織委員会及び府県政令市実行委員会が以下の運営マニュアルを作成し、それに基づき実施体制の構築や各種の手配等実施準備（スタッフの配置、動員、設営準備、通信機器・救護備品の調達など）を行う。

①組織委員会が作成する運営マニュアル

・大会全般に係る医療救護対策全体運営マニュアル画
　…大会当日の連絡体制表、広域的な対策の実施体制　など
・オープニングビレッジ、センタービレッジの医療救護対策運営マニュアル

②府県政令市実行委員会が作成する運営マニュアル

・各競技会場、開閉会式会場の医療救護対策運営マニュアルの作成

◆大会期間中の実施体制について

現時点では以下を想定するが、今後対策を進めていく中で、各会場に必要な対策内容・体制を精査し、最良な実施体制を構築していく。

◇組織委員会

・大会全体の統括機関としての医療救護本部の設置
・オープニングビレッジ、センタービレッジにおける医療救護対策
　（設置場所の府県政令市実行委員会と連携）

◇府県政令市実行委員会

・各府県政令市における統括機関としての府県政令市医療救護本部の設置
・各競技会場、開閉会式会場における医療救護対策

８．医療救護対策

● 医療救護対策の基本方針

1　救護本部及び救護所の設置
- 競技種目、開閉会式会場ごとに、救護本部を設置する。
- 各競技会場に、救護所を設置する。
- 救護所には、救護班を設置する。
- 競技の特性に合わせて、移動救護班を配置する。
- 救護本部は連絡調整や救急自動車の出動要請を、救護班は応急手当等を、移動救護班は傷病者の発見や応急手当等を行う。
- 救護班は、医師、看護師（保健師）及び事務職員等により、必要に応じた編成とする。
- 救護班は、傷病者に応急手当を行い、必要に応じて医療機関に搬送する。
- 救護所には、必要に応じて医薬品、医療器具、ＡＥＤ（自動体外式除細動器）、その他必要物品等を配備する。
- 特に多数の参加が見込まれる会場については、安全対策、危機管理対策と有機的な連携が図れたものとする。
- 通訳サービスなど海外参加者の傷病発生に対処できる体制を確保するものとする。
- ドーピング禁止物質を含有する医薬品は配備しない。

2　救急体制の整備
- 傷病者が円滑に医療機関を受診できるよう、救急体制を整える。
- 救急自動車等の配備については、別途関係機関と協議して定める。

3　救護内容の記録
- 救護内容の記録等を行う。
- 重度の医療救護事案については、医療救護本部（組織委員会）に速やかに報告する。

■役割分担

1　組織委員会の業務
- 府県政令市実行委員会の対策内容の統括・調整
- オープニングビレッジ、センタービレッジに係る医療救護対策
- 訪日者緊急事態対応に係る外務省、各国領事館との調整

＊オープニングビレッジ、センタービレッジの業務については、実施場所の府県政令市実行委員会と連携

2　府県政令市実行委員会の業務
- 各競技会場、開閉会式会場の医療救護対策

※連絡協議会において各会場の対策内容の全体調整、大会期間中の連絡体制の検討、その他必要項目の調整を行う。

※オープニングビレッジ、センタービレッジについては、組織委員会が担当するが、関係機関との連携を効率的に行う必要があるため、実施場所の府県政令市実行委員会が設置する部会に参画するなど、実行委員会と連携して進めていく。

■スケジュール

スケジュール	内容	
2017年度		
	【実 行】	地域の関係機関への協力依頼、「医療救護対策の基本方針」を踏まえて各会場の対策内容の具体化（～2019年下期）
	【組 織】	国等の関係機関との連携体制の構築（～2019年下期）
	【組 織】	大会期間中の連絡体制の構築（～2019年下期）
	【組 織】	実施場所の実行委員会と連携し、ｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞﾋﾞﾚｯｼﾞ・ｾﾝﾀｰﾋﾞﾚｯｼﾞ会場の対策内容の具体化（～2019年下期）
	【共 通】	連絡協議会において大会期間中の連携体制、各機関の対策内容の調整、その他必要項目の調整（～実施まで）
2018年度		
	【共 通】	連絡協議会において大会期間中の連携体制、広域対策の内容、保険の補償内容、その他必要項目の調整（～実施まで）
2020年度		
	【実 行】	関係機関と連携し、各会場の医療救護対策の計画作成、実施準備
	【共 通】	運営マニュアルの作成及び実施準備
2021年度	**ワールドマスターズゲームズ2021関西**	

9. 宿泊

■基本方針

大会運営者は大会参加者に多様な価格・種類の宿泊施設を適切に提供する責任があり、宿泊施設の確保に努め、大会参加者へ提供する。特に、各競技の競技実施期間については、すべての大会参加者が安心して競技に臨むことができるよう、競技会場近郊での宿泊施設の確保に努める。

また、宿泊施設に対するおもてなし研修の実施などを通じて、宿泊施設の受け入れ態勢の向上を図る。

■業務内容

１　宿泊施設の確保及び提供

⑴各競技開催地の宿泊施設の実態調査

・府県政令市実行委員会は、各競技開催地の宿泊施設のキャパシティなどを調査する。
・組織委員会は、それらを取りまとめる。
※可能な限り２０２１年時点での宿泊施設の状況把握に努める。

⑵宿泊・交通・交流の場に関する府県政令市実行委員会の考え方・意向の調査

・府県政令市実行委員会は、競技会場までの交通輸送や大会参加者交流の仕組みなど開催地域における各種施策を勘案した上で、各競技ごとに大会参加者の宿泊に関する考え方を検討する。
・組織委員会は、府県政令市実行委員会の考え方・意向を確認し、必要な調整を行う。

⑶宿泊予定者数の推定調査

・組織委員会及び府県政令市実行委員会は、競技日程(案)の提案に合わせて各競技開催地域の参加者の宿泊予定者数を想定する。
・組織委員会は、それらを取りまとめて、各競技開催地域別の宿泊予定者数を推定する。

⑷宿泊計画の作成

・組織委員会は、上記の調査及び基本方針を踏まえ、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会や観光協会等の業界団体の協力を得るとともに、旅行代理店と提携するなどして、宿泊計画を策定する。
・宿泊計画については、以下の項目を含める。
◇各競技開催地域の宿泊確保数
◇大会参加者への提供方法

⑸宿泊施設の確保

・組織委員会は、宿泊計画に基づき、府県政令市実行委員会と協力して宿泊施設の確保に努める。
・修学旅行や国際会議など大規模な宿泊予約との競合を避けるため、早期に宿泊施設を確保する。

⑹宿泊施設の提供

・組織委員会は、大会公式ホームページやエントリーシステムと連動した宿泊予約システムを構築することを、宿泊施設提供の基本として、取組を進める。

⑺大会運営スタッフの配宿

・組織委員会及び府県政令市実行委員会は、宿泊が必要な大会運営スタッフの管理や宿泊手配を行う。

2　大会参加者の利便性を向上させる取組

(1)組織委員会は、大会参加者が快適に宿泊できるサービスについての取組を各宿泊施設と調整する。
例）おもてなし研修、翻訳アプリ等

(2)府県政令市実行委員会は、確保した宿泊施設を大会参加者が利用しやすくするための施策を検討する。
例）宿泊施設から競技会場までの無料シャトルバスの運行等

■役割分担

- 組織委員会は、宿泊計画の作成や施設の確保、提供など宿泊に関する総合的な業務を行う。
- 府県政令市実行委員会は、開催地域の宿泊施設の実態調査や宿泊施設確保への協力など、各地域における宿泊に関する業務を行う。

■業務分担表

項目	業務概要	組織委員会	実行委員会
調査	各競技開催地域の宿泊施設の実態調査	◎	◎
	宿泊・交通・交流に関する府県政令市実行委員会の考え方・意向の調査	◎	◎
	宿泊予定者数の推定調査	◎	◎
計画作成・宿泊施設調整	宿泊計画の作成	◎	○
	宿泊施設の確保	◎	○
	宿泊施設の提供	◎	－

■スケジュール

スケジュール	内容
2017年度	**上期**
	【実 行】　各競技開催地域の宿泊施設の実態調査
	【共 通】　宿泊・交通・交流に関する府県政令市実行委員会の考え方・意向の調査
	【共 通】　宿泊予定者数の推定調査(参加者)
	下期
	【共 通】　宿泊計画の作成(～2018年度末)
	【組 織】　宿泊施設の確保(参加者)
2018年度	**下期**
	【実 行】　全スタッフ関係者数の推定調査・算出(競技役員・大会運営スタッフ等)
	【組 織】　宿泊施設の確保(競技役員・大会運営スタッフ等)
2019年度	
	【組 織】　大会参加者申込に合わせて宿泊施設の提供開始(2020年2月予定)
	【共 通】　大会参加者の利便性を向上させる取組(言語対応、シャトルバス等)
2020年度	
	【組 織】　大会運営スタッフの配宿
2021年度	**ワールドマスターズゲームズ2021関西**

10. 交通（輸送）

■基本方針

すべての大会参加者に広域エリアをストレスなく移動していただけるよう、各競技会場別の最適なアクセス方法を検討するとともに、それに合わせた交通パスの検討や最寄駅からのシャトルバスの運行、駐車スペースの確保などの交通手段を提供するとともに、交通情報を適切な方法で分かりやすく発信していく。

また、スポーツツーリズムの側面を有する大会の特性から、大会参加者の観光周遊等を促進させるためにも、開催地域全域を網羅できる交通手段の提供をめざして、交通事業者等の関係機関と連携を図りながら、検討を進める。

さらには、これらの取組が大会後にも引き継がれ、関西エリアの観光地としての魅力の向上に寄与することをめざす。

■業務内容

１　交通手段の提供方法の具体化

(1)宿泊・交通・交流の場に関する府県政令市実行委員会の考え方・意向の調査

・府県政令市実行委員会は、各競技種目ごとに、大会参加者の宿泊先や大会参加者交流の仕組など開催地域における各種施策を勘案した上で、競技会場への交通輸送の考え方（主要なアクセスルート、シャトルバスの運行など）を検討する。

・組織委員会は、府県政令市実行委員会の考え方・意向を確認し、必要な調整を行う。

(2)交通事業者などの関係機関との連携

・組織委員会は、交通事業者などの関係機関と協議をする場を設け、府県政令市実行委員会の考え方や意向を踏まえながら、交通手段の提供方法について検討を進める。

(3)交通手段の提供方法の決定

・組織委員会は広域移動について、府県政令市実行委員会は各競技開催地域内移動についての交通手段の提供方法を決定し、実施に向けた準備を進める。

(4)交通情報の提供

・大会公式ホームページなどでの交通情報の提供、大会公式ガイドブックへの交通情報の掲載、案内所での交通案内など、各種媒体での交通情報の提供方法の企画・実施を進める。

２　ツーリズムを促進するサービス企画

・組織委員会は、府県政令市実行委員会と連携し、ツーリズムを促進するサービスの企画についても検討をすすめる。

例）観光施設の割引、ツアーデスクの開設、ツーリズムルートの企画

10. 交通（輸送）

■役割分担

- 組織委員会は、各開催都市間など広域移動の交通手段の提供を担当する。
  例）大会オリジナルの乗車券の販売、ICカードを活用した移動サービスの提供
- 府県政令市実行委員会は、競技会場と最寄駅間や宿泊施設間など各競技開催地域内移動の交通手段の提供を担当する。
  例）シャトルバスの運行

■業務分担表

項目	業務概要	組織委員会	実行委員会
交通（輸送）計画作成	宿泊・交通・交流に関する府県政令市実行委員会の考え方・意向の調査	◎	◎
交通情報準備・提供	交通事業者などの関係機関との連携	◎	○
	交通手段の提供方法の決定	◎	◎
	ツーリズムを促進するサービスの提供	◎	○
	交通情報の提供	◎	○

■スケジュール

スケジュール	内容
2017年度	
	【共 通】　宿泊･交通･交流に関する府県政令市実行委員会の考え方･意向の検討
	【組 織】　交通事業者などの関係機関との連携
2018年度	
	【組 織】　広域輸送計画の作成
	【実 行】　開催地域輸送計画の作成
2019年度	**下期**
	【組 織】　大会参加者申込に合わせて交通情報の提供開始(2020年2月予定)
2020年度	
	【共 通】　大会公式ガイドブックや案内所での交通情報の提供
2021年度	**ワールドマスターズゲームズ2021関西**

11. 観光・文化

■基本方針

現在、各地域において、地方公共団体をはじめ経済界、地域団体等の様々な団体が、地域の資源を活かしたインバウンド施策や地域活性化の施策を実践しており、ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えて加速化・拡大化している。

これら各地域が積極的に取り組んでいる施策を本大会を契機に更に拡大させるとともに、関西の豊富な観光・文化資源も活かして関西ブランドを確立し、本大会が持つ情報発信力を融合させて世界中の人々に関西・日本の魅力を発信し、多くの方にスポーツツーリズムの感動的な体験を提供して、大会以降にも引き継ぐ成果としていく。

■業務内容

以下の施策の実施を取組の方向性として位置付け、今後、連絡協議会等を通じて具体化を検討する。

- **地域の取組を束ねる施策の実施**

関西は、歴史・文化・スポーツ産業の集積地であるなど多くの地域資源を有しており、それらの地域資源を各開催地域の特色として発信すると同時に、それらを有機的に束ね、関西ブランドとして発信していく施策を実施する。

この施策を効果的なものとするため、大会の開催を契機としてそれらの地域資源を活かした様々なイベント実施を促進する取組や、埋もれている資源を顕在化させる取組について検討する。

合わせて、各開催地域の取組の発信の仕方や効果的な広報戦略など、施策を有意義なものとするための方法について検討する。

また、各開催地域の文化・観光施設の無料・割引入場チケットの配付や観光周遊プランの提供などの大会参加者サービスの企画を予定しており、ブランド確立と並行して大会参加者が滞在期間に楽しめるような仕組みについても検討する。

この施策を通じて、関西全体の地域力の向上を図り、大会参加者に再び関西に訪れたいと思っていただくなど地域の継続的な発展につなげていく。

■役割分担

- **推進体制の検討**

大会以降も引き継がれる成果とするため、組織委員会は関西観光本部、関西広域連合の施策と連携した一体的な推進方法を検討する。府県政令市実行委員会は地方の行政、経済界、観光協会、各種の地域団体など地域の多くの関係者が参画できる推進方法について検討を行う。

■スケジュール

スケジュール	内容
2017年度	
	【組 織】　関係団体との連携体制構築
	【実 行】　地域の推進体制の確立
	【共 通】　連絡協議会での検討（～2020年）
2020年度	（予定）
	【共 通】　施策の実施
2021年度	**ワールドマスターズゲームズ2021関西**

12. 広報

■基本方針

大会に対する認知度、理解度の向上をめざし、組織委員会と府県政令市実行委員会がそれぞれのツールを活用して重層的な発信を継続していくとともに、ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会との連携や、過去大会参加者、スポーツ愛好家、大学等あらゆる担い手を通じて大会のもつ価値・意義を情報発信し、「するスポーツ」への関心・機運を高め、大会参加への誘導を図るとともに、スポーツ文化の醸成に寄与する。

また、国外参加者２万人の獲得に向けて、ターゲット国の設定、ホームページ等広報ツールにおける多言語対応など、国外に向けての情報発信の充実、整備をはかる。

さらに、平日開催が含まれることによる参加ハードルの高さの課題について、様々な角度からの理解者・支援者を募り、解消に向けた機運を高めて行く。

■業務内容

１　大会の認知度向上にむけた大会情報の充実、整備、発信

- **統一したプロモーションツールの展開**
  大会名、大会エンブレム、テーマカラー等の大会を発信していくうえで必要となる要素を統一し、組織委員会と府県政令市実行委員会が一体的かつ多面的に活用することで大会の認知度向上を図る。
- **大会公式ホームページ・SNS等による情報発信**
- **過去大会情報の活用とアーカイブ化**
  第9回大会である2017年オークランド大会の情報を中心に、過去大会の情報を整備し、国内で広く発信することで、大会に対する理解度の深化を図る。

２　あらゆる担い手が集い情報発信・収集、交流の場となるプラットフォームづくり

スポーツ愛好家をはじめスポーツ関連企業や団体等、大会を支え、盛り上げるあらゆる担い手が情報発信・収集ができ、交流の場となるプラットフォームを形成し、「するスポーツ」への関心・機運を高め、大会参加への誘導をはかる。

３　様々な担い手を通じた情報発信及びネットワーク構築

過去大会参加者との交流会や意見交換会を開催し、ワールドマスターズゲームズの意義・価値を共有するとともに、今後の広報活動に参画いただくなど、参加者を通じたネットワークを構築し広報活動につなげる。

・シンポジウム・講演会やホームページ等へのインタビュー掲載などによるワールドマスターズゲームズ魅力発信

４　開催地における一体感の創出にむけた機運の醸成

- 広域開催の意義を最大限に引き出し、大会や開催地域の魅力を磨きあげるため、選手の交流や各種イベントなどを開催地域ごとに行い、各開催地域における大会づくりへの機運の盛り上がりを図る。
  ・自治体広報や市民スポーツイベント等を活用したＰＲ
  ・地元住民・企業の機運醸成にむけた取り組み
  ・大学との連携による情報発信・大会ＰＲ手法の提案・検討

- 競技団体等を巻き込んだ機運醸成施策の展開
  ・競技団体のノウハウを活用し、競技自体の魅力やスポーツをすることの楽しさの発信など、既競技者への広報だけでなく、未経験者等への関心度を高め、大会への参加を誘導する。
  ・各種競技大会を活用した大会ＰＲ

５　国、企業・団体を巻き込んだ生涯スポーツの振興及び大会参加にむけた環境づくり

- 協賛企業を中心とした民間企業の参画による、大会参加に向けた環境づくり
  （平日を含む大会への参加奨励など）
- 「するスポーツの国際大会」というイメージづくり
  ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会、2021年のワールドマスターズゲームズと３年連続で国際的な大規模競技大会が日本で開催されることから、「みる・みる・する」と３大会連動・連携した広報活動を行う。

＜海外戦略＞

１　海外リピーター層の取り込み

- ターゲット調査等を踏まえた海外戦略に応じた施策の展開
  過去大会の参加者データ、競技団体等の会員データ等をもとに国別・競技別等参加者の傾向を分析し、それぞれのターゲットに応じた広報・誘客戦略を行う。
  ・アジアマスターズ、パンパシフィックマスターズ等との連携
  ・過去大会参加者やＩＦ（国際競技団体）・ＮＦ（中央競技団体）会員等にむけた大会情報の発信
- 主要誘客対象国（オーストラリア、カナダ、アメリカ、アジア等）のスポーツ関係機関等との意見交換を通し誘客ＰＲを働きかける。

２　アジア圏からの参加者の獲得

アジア初開催であり、過去大会において参加者が少ないアジア圏からの参加者獲得が課題であることから、アジアンマスターズ等スポーツイベントや旅行博への出展など様々な機会を活用し、大会への関心を高めるとともに、観光・文化も交えた関西・日本の魅力発信や留学生を通じた情報発信など、アジア圏における大会の認知度向上、参加への誘導につながる広報活動を展開する。

３　スポーツツーリズムを契機とした訪日モチベーション促進につながる情報発信

- 組織委員会及び府県政令市実行委員会がそれぞれに持つ広報ツールの活用、各府県政令市における姉妹都市・姉妹州等との交流事業を活用するなど多面的な広報・誘客ＰＲを行う。
  ・自治体拠点及び施策の活用
  （海外事務所、姉妹都市、姉妹州、ホストタウンシティ、トッププロモーション）

- 各種企業（海外旅行業者・スポーツメーカーなど）の海外戦略との連携

- 観光・文化の領域を交えた関西・日本の魅力を一体的に発信することで、スポーツツーリズムを契機とした関西への訪日モチベーションを促進する。

12. 広報

■業務分担表

項目		業務概要	組織委員会	実行委員会
広報・マーケティング	大会情報整備・発信	プロモーションツールの統一	◎	－
		各種プロモーションツールを活用した発信	◎	◎
		過去大会情報の活用とアーカイブ化	◎	◎
		交流プラットフォームの形成と発信、誘導	◎	－
	ネットワーク構築	参加者との交流会、意見交換会の実施	◎	－
		シンポジウム、講演会の開催	◎	－
	開催地一体感の創出	自治体広報、市民スポーツイベント等を活用したPR	－	◎
		大学との連携による情報発信	◎	◎
		競技団体との連携による情報発信	－	◎
	国、企業・団体との連携	大会参加に向けた環境づくりへの働きかけ	◎	－
		ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会との連携	◎	－
	海外広報展開	海外広報戦略の策定	◎	－
		海外他大会、競技団体との連携による情報発信	◎	－
		アジア圏における認知度向上、参加誘導策の展開	◎	－
		自治体拠点（海外）を活用した施策	○	◎
		海外企業、海外進出企業との連携	◎	－

■スケジュール

2017年度～　　・業務内容ごとに随時作業を進める。

13. 知的財産の活用と保護

■基本方針

本大会を表現する、名称、大会エンブレム、大会マスコット等のブランドアイデンティティを活用し、大会価値を高める。また、それら知的財産及び大会関係者に許諾した知的財産の使用権を適切に管理・保護する。

■業務内容

- 大会における知的財産の対象を検討する。
  例）大会名称、大会エンブレム、大会マスコット　等
- 組織委員会及び府県政令市実行委員会に対応する、知的財産利用の管理体制を構築する。
- 協賛社には知的財産の使用権を契約メリットとして付与していることから、協賛社以外の団体の使用については、大会エンブレムとは別の専用ロゴの策定などルール化を進める。

例①　東京2020参画プログラム

スポーツだけでなく、文化芸術や地域での世代を越えた活動、被災地への支援など、参加者自らが体験・行動し、未来につなぐプログラム。2016年秋より政府や自治体、スポンサーを中心に開始し、2020年に向けて全国の非営利団体まで対象を拡大。

■役割分担

- 組織委員会は、知的財産保護の計画策定及び知的財産の運用を行う。
- 大会公式グッズにおけるプロパティ管理および企画・ライセンス契約企業の募集等は組織委員会が対応し、販売については組織委員会及び府県政令市実行委員会で対応する。

■業務分担表

項目		業務概要	組織委員会	実行委員会
知的財産の保護	知的財産保護の計画策定	知的財産となり得る項目の抽出	◎	－
		知的財産保護の計画策定	◎	－
		知的財産権の法的処理	◎	－
	知的財産の運用	知的財産の使用許諾と管理・保護	◎	－
		アンチアンブッシュマーケティングの遂行	◎	－
大会公式グッズ	プロパティ管理	ロゴ、大会マスコット等の商標管理、規程作成	◎	－
	販売準備	ライセンス企画書の作成	◎	－
		ライセンス契約企業の募集、契約	◎	－
		販売場所の決定	◎	－
		販売場所の調整、確保	－	◎
		契約企業との調整、管理	◎	－
	販売	販売	◎	○

■スケジュール

2017年度～　　・知的財産保護の計画策定

＊大会公式グッズのスケジュールについては、今後検討する。

14. 企業・団体協賛

■基本方針

- 2014年4月1日～2017年12月31日を第一期協賛期間とし、2018年1月1日から2021年12月31日までを第二期協賛期間とする。
- 第一期は、初期の大会知名度が低い状況において、安定した協賛金を獲得するため、関西の経済団体会員企業を中心に協賛を依頼し、組織組成当初から下支えいただいた。
- 第二期は、これまでの大会認知度向上に加えて大会の社会的価値の向上にも取り組み、協賛に対して適切な価値を提供していくスポンサー制を予定する。また、早期に協賛を得るため、2017年度から、協賛メリットを最大限活用できる企業に対して重点的に協賛セールスを開始する。
- 第二期では、組織委員会が集める組織委員会スポンサーと、府県政令市実行委員会が集める府県政令市実行委員会スポンサーを設定し、組織委員会及び府県政令市実行委員会のそれぞれが協賛獲得から管理、協賛プログラムの履行を行う。

  ・組織委員会スポンサー
  大会全体の運営に係るサポートを実施していただくスポンサーと定義する。
  ・府県政令市実行委員会スポンサー
  地元応援ならびに地元の活性化に資するサポートをしていただくスポンサーと定義する。

■業務内容

１　第二期協賛計画の策定

第二期協賛セールスにあたり、組織委員会と府県政令市実行委員会の両者が一定の共通認識を持って円滑にセールス活動を行うため、また、組織委員会スポンサー及び府県政令市実行委員会スポンサーのお互いが協賛価値を高め、効果的に大会ＰＲにつなげていけるよう、協賛計画を策定する。

協賛計画の内容…組織委員会スポンサーと府県政令市実行委員会スポンサーの協賛条件等の棲み分け、管理機能の持ち方　など

２　協賛社獲得準備

組織委員会は、セールスにあたっての運用ルールをまとめた協賛セールスマニュアルを作成し、府県政令市実行委員会協賛担当者に対して説明会を開催する。

府県政令市実行委員会は、第二期協賛計画に基づき、地元企業の協賛候補企業のリストアップを行い、組織委員会に提出する。

組織委員会は、府県政令市実行委員会から提出された協賛候補企業のリストを集約し、組織委員会スポンサーの協賛候補企業と重複する企業の調整などを行うとともに、組織委員会及び府県政令市実行委員会は、協賛マニュアルを元に、各協賛候補企業へ協賛プログラムを説明するためのセールスシートを作成する。

３　協賛社獲得、管理及び協賛プログラム履行

組織委員会及び府県政令市実行委員会は、協賛マニュアルに基づき、連携を図りながら、協賛社の獲得、管理及び協賛プログラムの履行を行う。

14. 企業・団体協賛

■役割分担

1　協賛担当者の設置

・組織委員会及び府県政令市実行委員会のそれぞれが、協賛担当者を設置する。

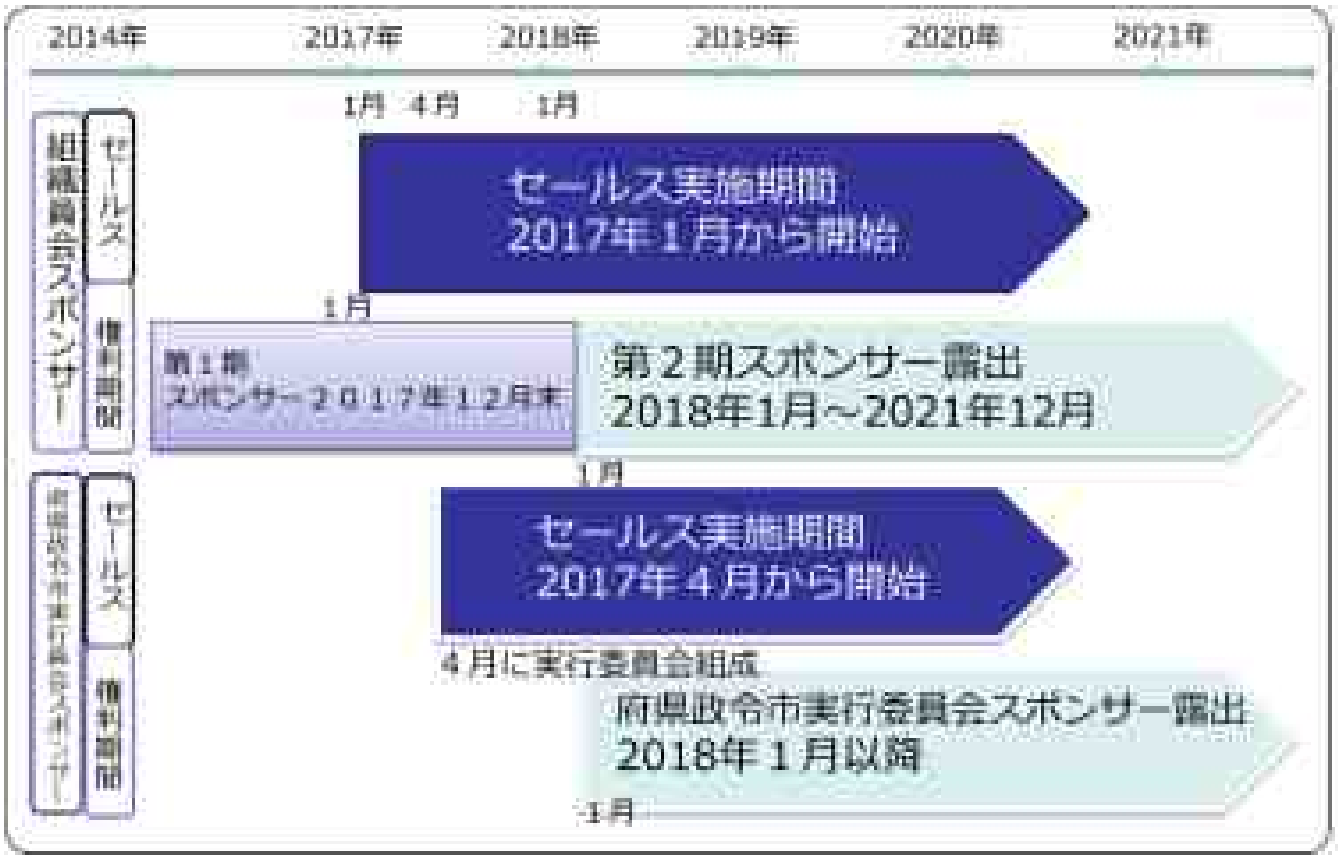
2　役割分担

・組織委員会は、第二期協賛計画及び協賛セールスマニュアルの作成、組織委員会スポンサーに係る業務を担当する。
・府県政令市実行委員会は、府県政令市実行委員会スポンサーにかかる業務を担当する。
・協賛候補企業の調整・管理は、組織委員会を取りまとめ役として、各機関が協力して行う。

■業務分担表

項目	業務概要	組織委員会	実行委員会
協賛計画策定	第二期協賛計画の策定 （組織委員会スポンサー及び府県政令市実行委員会スポンサーの棲み分け、管理機能設置、ＶＩＫ協賛対応の項目抽出など）	◎	－
協賛社獲得準備	協賛セールスマニュアルの作成	◎	－
	協賛候補企業のリストアップと調整	◎	○
	協賛プログラム(セールスシート)の作成	◎	◎
協賛社獲得	協賛社への依頼	◎	◎
協賛社管理	協賛社との連携・連絡等	◎	◎
協賛プログラム履行	各種広報物への協賛社名露出等	◎	◎

■スケジュール



15. ボランティア

■基本方針

大会ボランティア活動は、大会運営を多くの方に支えていただくための重要な要素である。特に競技参加が概ね30歳以上である本大会においては、青年世代の大会参加は貴重な機会であることから、十分なボランティア活動の機会を提供することを基本方針とする。

ボランティア研修においては、ボランティアの生き生きとした活動が大会や開催地域の印象をポジティブにし、大会の一体感や盛り上げにも繋がることから、ホスピタリティの育成プログラムを実施するとともに、言語対応や障がい者の基本的な応対方法など、国際総合大会として必要な知識の育成プログラムを実施する。

また、ボランティアの参画者については、開催地域住民の参画を優先し、ボランティア精神が地域文化に根付いていくことをめざす。

■業務内容

1　ボランティア推進体制について

2017年度からの連絡協議会の場において、各種団体（地域企業・学校・企業等）への動員依頼方法や、ボランティアの割振りなどを検討していく。

それぞれの地域事情、マラソン大会などの大規模スポーツイベントの実績によるボランティア素地など、各府県政令市のボランティア事情が異なっているため、本大会の性質を鑑みて最善の推進体制を構築していく。

2　ボランティア業務指針の策定

ボランティアの統一的な募集・管理を行うために、組織委員会がボランティア業務指針を作成し、府県政令市実行委員会に提供する。

作成にあたっては、府県政令市実行委員会との協議を行うとともに、レガシー創出委員会や各種有識者会議によって提案されたボランティアの可能性についての意見や、ワールドマスターズゲームズ 2017年オークランド大会の実績、ラグビーワールドカップ2019及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会との連携検討を踏まえる。

◎ボランティア業務指針の内容（案）

- ・ボランティアの参加資格について（年齢、活動可能日数、健康状態、スキルなど）
- ・ボランティアの活動内容について（業務時間・休憩時間、服装、費用弁償、保険など）
- ・ボランティアの募集・管理・研修の基本事項について（募集方法・期間、個人情報の管理、研修回数など）
- ・協賛企業の参加についての調整
- ・国外ボランティアの受入れについて
- ・障がい者ボランティアの受入れについて

3　ボランティア機運の醸成活動

関西マスターズスポーツフェスティバルやラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会との連携などによりボランティア機運の醸成へとつなげていく。

4　配置計画・募集要項の作成・告知・動員依頼

各推進主体（組織委員会・府県政令市実行委員会）は、ボランティア業務指針を踏まえ、従事する会場・業務ごとに必要なボランティアスキル、人数、業務場所などを整理した配置計画及び、募集広報資料となる募集要項を作成する。また、一般募集に先立ち地域の団体などに参加を働きかける。

関西広域圏外における大学には、組織委員会からボランティアの積極的な参画を促し、協力体制を構築する。比較的に動員が困難であると思われる専門ボランティア（言語対応・介助・手話・要約筆記等）を中心に動員依頼を行う。

関西広域圏外における大学、各種団体（笹川スポーツ財団、ラグビーワールドカップ2019や東京オリピック・パラリンピック競技大会等）及び協賛企業からのボランティアの配置については、大会全体のバランスを見て、府県政令市実行委員会に振り分けを実施する。

5　ボランティアの募集・ボランティア本部の開設

募集については、組織委員会の大会公式ホームページで一括募集の広報を行うとともに、各推進主体（組織委員会・府県政令市実行委員会）がそれぞれ行うものとする。

また、各推進主体（組織委員会・府県政令市実行委員会）は、ボランティア本部を開設し、募集・管理（ボランティアの名簿作成、配置の割り振り、調整等）が行える体制を整備する。

6　ボランティア備品

ボランティア活動時に着用するユニフォームなどのボランティア備品の企画及び作成は、組織委員会が行う。作成数量は、各推進主体の配置計画を取りまとめて算出する。

また、ボランティア備品の内容は、原則として組織委員会の作成物に限るが、各競技の特性などから必要と思われる備品がある場合は、組織委員会との調整を行い、府県政令市実行委員会が独自に作成して提供する。

7　ボランティアの配置の割り振り決定・研修実施

ボランティアとして活動する上で、ボランティア活動が大会にポジティブな影響を与えることやそれぞれの役割の重要性を認識し、必要な知識を習得してもらうべく研修を実施する。

具体的な研修内容や研修場所の確保等については随時検討していく。

【実施内容】

・共通研修プログラムと業務別研修プログラムに区分する。
・共通研修プログラムは、基本的な挨拶などのホスピタリティ、外国人の受入対応、障がい者の介助対応、緊急時対応等を想定
・業務別研修プログラムは、各ボランティアの業務日時、場所、業務内容等を想定
・共通研修プログラムは組織委員会で作成し、各業務別研修プログラムは、担当会場ごとにそれぞれが作成する。

●想定するボランティア業務

大会ボランティアの業務は多岐にわたるが、他の大規模競技大会を参考に想定される主要な活動内容としては以下のものがある。今後、大会運営準備を進めていく中で下記の業務区分以外にも業務内容を幅広く考えて、活動の対象を広げていくとともに、必要な人数の精査を進めていく。

区分		内容
【一般ボランティア】	受付	本大会にて定められた配置場所で活動を行う。
	会場案内	
	競技運営補助	
	式典イベント補助	
【専門ボランティア】	多言語	日常会話程度の専門スキルを活かした活動を行う。
	手話	手話通訳士、手話技能検定などの専門スキルを活かした活動を行う。
	筆談・要約筆記	筆談・予約筆記等の専門スキルを活かした活動を行う。
	審判 （パラ種目含む）	各競技種目の専門知識・資格を必要とする活動を行う。
	介助	介護福祉士などの福祉関係の専門知識を活かした活動を行う。

15. ボランティア

■役割分担

1　組織委員会

①オープニングビレッジ、センタービレッジ、オフィシャル案内所のボランティアに関する業務（管理・研修・当日運用）。ただし、 動員依頼・募集業務については実施場所の府県政令市実行委員会（京都市及び大阪市）と連携する。
②ボランティア業務指針の作成
③大会公式ホームページ上での募集広報
④ボランティア備品（ボランティアユニフォーム等）の作成
⑤ボランティア保険の契約（一括契約）

2　府県政令市実行委員会

①各競技会場、開閉会式会場、ローカル案内所、交流の場等のボランティアに関する業務（動員依頼・募集・管理・研修・当日運用）
②オープニングビレッジ、センタービレッジ、オフィシャル案内所のボランティアに関する業務の組織委員会との連携

■業務分担表

項目		業務概要	組織委員会	実行委員会
事前作業	業務指針	ボランティア業務指針の策定	◎	－
	配置計画	ボランティアの配置計画（業務内容・人数）を作成（※）	◎	◎
	動員依頼	各種団体への動員依頼	◎	◎
募集	要項作成	ボランティア募集要項の作成（※）	◎	◎
		ボランティア募集の告知（募集パフレット制作を含む）（※）	◎	◎
		ボランティア募集作業（WEBサイト・郵送）（※）	◎	◎
管理	管理	ボランティアの名簿作成、配置の割り振り作業（※）	◎	◎
備品	備品企画	ボランティアキットの企画（内容、ＶＩＫの調整）	◎	○ 独自作成物
	備品作成	ボランティアキットの作成	◎	○ 独自作成物
	備品管理	ボランティアキットの府県政令市実行委員会への納品	◎	－
		ボランティアキットの仕分け、管理（※）	◎	◎
研修	研修	ボランティアへの通知作業（活動内容・説明会日程の案内）（※）	◎	◎
		共通研修プログラムの作成	◎	－
		業務別研修プログラムの作成（※）	◎	◎
		ボランティア研修の実施（※）	◎ 共通	◎ 業務別
保険	保険	ボランティア保険の加入	◎	－
当日	運用	当日のボランティア管理（※）	◎	◎
その他	その他	ボランティアの機運醸成に繋がる取り組み	◎	◎
		ボランティア業務に関するメディア対応	◎	◎
		ボランティア業務に関するスポンサー対応	◎	◎
		RWC2019、TOKYO2020等の国際メガスポーツイベントの連携事業	◎	－
		ボランティア精神の継承作業（レガシー）	◎	◎

※組織委員会の業務に関するボランティア（オープニングビレッジ・センタービレッジ）については、組織委員会が担当する。

ただし、 動員依頼・募集業務については実施場所の府県政令市実行委員会（京都市及び大阪市）と連携する。

15. ボランティア

■スケジュール

スケジュール	内容	
2017年度		
	【組 織】	ボランティア業務指針の作成
	【実 行】	連携機関と関係構築（地域団体・学校・企業等）
	【組 織】	大学連携事業・ボランティア機運の醸成活動
		Ex)・ラグビーワールドカップ2019、2020東京オリンピック・パラリンピック 競技大会との連携
		・スポーツイベントでの周知
2018年度		
	【共 通】	配置計画及び募集要項の作成（～2020年2月まで）
	【共 通】	業務指針を元に動員依頼開始（地域団体・学校・企業等）（～2020年まで）
2019年度		
	【共 通】	個人ボランティア募集
2020年度		
	【組 織】	海外ボランティア募集
	【共 通】	配置計画の見直し・プログラムの作成（共通：組織委員会・業務別：府県政令市実行委員会）
	【組 織】	ボランティアキットの内容確定・作成・納品
	【実 行】	ボランティアキットの仕分け・管理
	【共 通】	研修マニュアルの作成（共通：組織委員会・業務別：府県政令市実行委員会）
	【共 通】	配置作業・通知作業
	【共 通】	研修実施（共通：組織委員会・業務別：府県政令市実行委員会）
2021年度	**ワールドマスターズゲームズ2021関西**	

16. 言語サービス

■基本方針

大会期間中に国外から２万人の大会参加者が関西エリアを訪れる予定であり、国外大会参加者が大会や開催地域を快適に楽しんでいただくため、組織委員会及び府県政令市実行委員会をはじめ、各地方公共団体や地域がそれぞれに言語サービスの取組を進めていく。

■業務内容

以下にまとめる言語サービスの基本指針をもとに、国や各地域で策定する多言語対応に関するガイドラインや、まちづくり、景観などの各種施策も考慮した上で、組織委員会及び府県政令市実行委員会がそれぞれに取組を進めていくこととする。

また、大会公式ホームページや大会公式ガイドブックの対応言語など大会全体に関する取組や、会場内案内表示方法などの統一的な対応が必要な取組については、連絡協議会の場において、連携・調整を行う。

なお、言語サービスの基本指針の作成にあたっては、関西広域連合が平成２５年３月に策定した「関西全域を対象とする観光案内表示ガイドライン」などを参考にした。

● 言語サービスの基本指針

１　大会公式ホームページ・制作物の対応

⑴ 大会公式ホームページ、エントリーシステム

・日本語と英語の２か国語表記に加え、他の言語についても対応を検討する。

⑵ 各種制作物

・日本語と英語の２か国語表記を原則とし、２か国語併記とするものや日本語版・英語版を作成するものなど、制作物の内容によって適切な対応をする。

・事前広報の制作物においては、日本語と英語の２か国語のものを作成するほか、必要性に応じて他の言語のものも作成する。

・大会期間中の使用する制作物については、各国の大会参加者数を確認の上、必要性に応じて他の言語の対応を進めるものとする。

２　大会に関係する会場の対応

⑴ 案内表示

・限られたスペースでわかりやすい表示をするため、日本語と英語の２か国語表記を原則とする。

・「名称・案内・誘導・位置」を示すもの及び「注意・禁止」を示すものについては、英語の併記を行うことを基本とし、「文章解説」については、視認性や景観に問題がない限り、英語の併記を行うことを基本とする。

・視覚的な図による表現で内容の伝達を直感的に行うことができるピクトグラムを有効に活用する。

⑵ 音声案内・多言語対応スタッフの配置

・会場での音声案内は、日本語と英語の２か国語案内を原則とする。

・国際大会参加者の問い合わせ等に対応するため、多言語対応スタッフを配置する。対応言語については、会場ごとに大会参加者の参加国・地域を確認した上で、必要性に応じて検討する。
≪配置場所や対応言語などについては、ボランティア計画の中で検討を進める≫

・翻訳機能付きタブレットなどのツールの導入を検討する。

⑶ 各地方公共団体の施策との連携

・各地方公共団体の施策と連携し、会場及び会場周辺における既存の案内表示の多言語対応化やFree Wi-Fiアクセススポットの設置などを進める。

３　競技開催地域の宿泊施設や会場周辺飲食店等への多言語対応の推進
・外国人受入マニュアルや多言語指差しシートやQRコードを作成・配付するなど、競技開催地域の宿泊施設や会場周辺飲食店等における国外大会参加者の受入推進に努める。

４　その他
・高齢者なども判読しやすいようにできるだけ大きなスケールで表記するなど、多言語対応の視点だけでなく、誰もが見やすくわかりやすい表記を心がける。
・協賛社名の露出など、協賛計画に関する表記対応についても、同時に進める。

■役割分担

１　組織委員会
・大会公式ホームページ、エントリーシステムの多言語表記
・大会公式ガイドブックなど、組織委員会が担当する制作物の多言語表記
・オープニングビレッジ、センタービレッジの多言語対応
・オフィシャル案内所の多言語対応
・関西広域連合、関西観光本部との連携した関西全体での外国人おもてなし態勢の強化の取組

２　府県政令市実行委員会
・各競技会場、開閉会式会場の多言語対応
・ローカル案内所の多言語対応
・府県政令市実行委員会の制作物等での多言語表記
・競技開催地域の宿泊施設や会場周辺飲食店等への多言語対応の推進

■業務分担表

項目	業務概要	組織委員会	実行委員会
言語サービス基本指針策定	言語サービス提供の基本指針の策定	◎	－
実施	大会公式ホームページ、エントリーシステムの多言語表記	◎	－
	大会公式ガイドブックなど、組織委員会が担当する制作物の多言語表記	◎	－
	オープニングビレッジ、センタービレッジの多言語対応	◎	－
	組織委員会が設置する案内所の多言語対応	◎	－
	関西広域連合、関西観光本部との連携した関西全体での外国人おもてなし態勢の強化の取組	◎	－
	各競技会場、開閉会式会場の多言語対応	－	◎
	府県政令市実行委員会が設置する案内所の多言語対応	－	◎
	府県政令市実行委員会の制作物等での多言語表記	－	◎
	開催地域内の宿泊施設や会場周辺飲食店等への多言語対応の推進	－	◎

■スケジュール

2017年度～　・業務内容ごとに随時作業を進める。
・必要に応じて、連絡協議会の場において連携・調整を行う。

17. 財政

■基本方針

大会開催に必要な財源の確保と効率的な予算執行に努めるとともに、よりよい大会をめざす中で、発生する課題に機動的に対応できるよう柔軟で健全な財政運営を図る。

■業務内容

１ 財政計画

・適切な事業の執行と財政リスクの管理に向けて、大会開催年までの組織委員会の収支計画を定め、検証を行いながら状況変化に応じて見直しを行う。

２　財務

・適切な会計事務、出納、財務管理を行うとともに、各種保険の加入や為替予約により、財政上のリスクを低減させる。
・適宜情報の開示を行い、事業の透明性確保に努める。

３　財源確保

・安定した大会運営を目指し、大会価値を向上させ、公的補助、協賛金等幅広く財源確保に努める。

４　参加料金

・IMGAとの調整を図りつつ、早期割引・団体割引の導入、参加者特典やグレードの検討を行いながら、参加者数の最大化と収入確保の両面を考慮し、参加料金を設定する。
・競技参加に関し、特殊経費が発生する競技種目については、特別参加料金を設定する。

５　大会公式グッズ

・ロゴ、大会マスコット等の利用に関する指針を作成し、ライセンス契約等によりグッズを販売する。
・国内企業や団体のノウハウを活用した技術や地場産業、文化や伝統など関西はもとより日本らしさを反映したグッズを販売できるよう、各方面に働きかけを行う。

■業務分担表

項目		業務概要	組織委員会	実行委員会
財政計画	大会収支計画	大会開催年までの組織委員会の年別収支計画を作成	◎	－
	参加料金の設定	参加料金、特別参加料金、早期割引、団体割引等の検討	◎	－
		IMGAとの調整、決定	◎	－

■スケジュール

2019年度　・参加者申込時期に合わせて、参加料金の設定

（参考）推進スケジュール

ワールドマスターズゲームズ2021関西

		H29(2017)年度／4年前	H30(2018)年度／3年前
全体スケジュール		●組織委員会実行委員会設置	●競技日程決定 ●式典会場決定 ●式典コンセプト決定
IMGA承認事項		●IMGA会議開催地視察	●テクニカルデリゲート来日
0.プロジェクト			
レガシーリーディングプロジェクト	組織		
	実行		
	共通		
レガシープロモーション	組織		
	実行		
	共通		
1.大会機能の確認			●オープン… ビレッ…
大会種目・競技種別	組織	オープニングビレッジ・センタービレッジ設置場所の決定	オープニングビレッジ・センタービレッジの運営業務・事務における方針策定
	実行		
	共通		大会総合本部における情報発信及び運営体制の検討
開閉会	組織	演出方針の策定	
	実行	既存競技大会等や関係機関との連携体制構築	
	共通		
2．参加者申込・参加者受付			●受付会場…
参加者申込	組織	エントリーシステムの仕様書作成 エントリーシステムの構築	
	共通	エントリーシステム構築に必要な事項の前提設定	
参加者受付・参加者キット	組織	参加者受付計画の策定	
	共通		参加者受付場所の検討・調整 受付会場にかかる調整事項

調整中

項目		区分	H29(2017)年度／4年前	H30(2018)年度／3年前
全体スケジュール			●[illegible]	●[illegible] ●式典会場決定 ●式典コンセプト決定
IMGA承認事項			●[illegible]	●テクニカルデリゲート承認
3.[illegible]			●[illegible]	●[illegible] ●[illegible]
	[illegible]	[illegible]		[illegible]
		[illegible]	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]	[illegible]	テクニカルデリゲートのIMGA承認(?)
		[illegible]	テクニカルデリゲートの選出	[illegible]
	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
		[illegible]	[illegible]	
		共通	[illegible]	
	[illegible]	[illegible]		メダルの規格、デザイン案を決定
		[illegible]		
	開閉会プログラム、[illegible]	[illegible]		
		[illegible]		
	記録業務(?)	[illegible]	[illegible]	
		[illegible]		
	ドーピングコントロール	[illegible]		
4.デモンストレーション種目				
	（参考）[illegible]スケジュール	[illegible]	[illegible]　[illegible]	[illegible]
		[illegible]	[illegible]　[illegible]	[illegible]
5.開閉会式			●[illegible] ●式典会場・[illegible]	●式典コンセプト決定
		共通	[illegible]	[illegible]
6.交流の場づくり				
		[illegible]	オープニングビレッジ・センタービレッジの設置場所決定 交流の場の設計策定	
		共通	宿泊・交通・交流に関する関西各府県市町実行委員会の考え方・意向の調査(?)	交流の場計画決定（開催内容・開催時期・開催場所）

H31(2019)年度／2年前
H32(2020)年度／1年前
H33(2021)年度／開催年
大会公式ガイドブックに掲載
運営マニュアルの策定

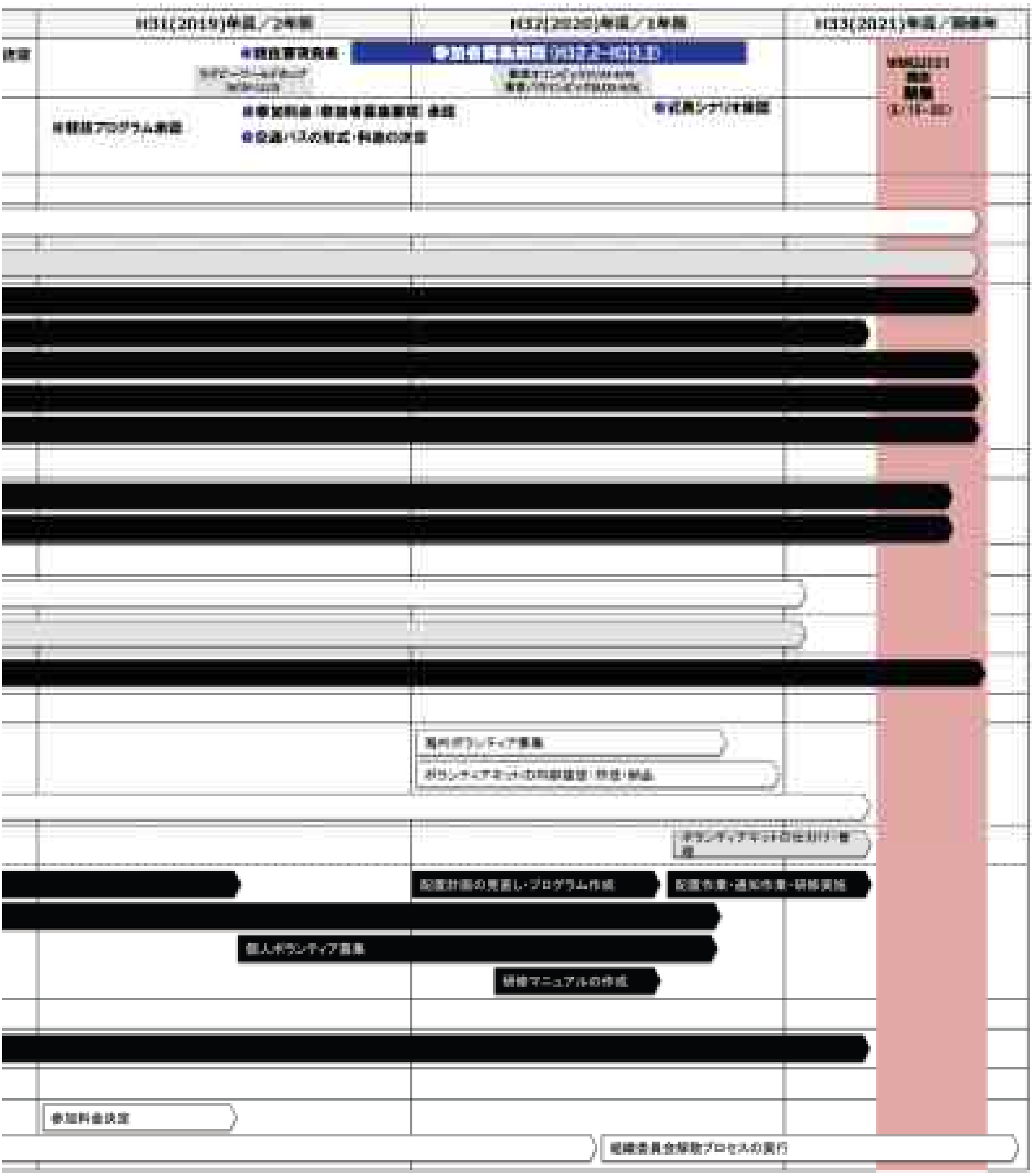
（参考）推進スケジュール

H29(2017)年度／4年前
H30(2018)年度／3年前
全体スケジュール
●開催日程決定
●式典会場決定
●式典コンセプト決定
IMGA承認事項
●IMGA会場視察団来県
●テクニカルデリゲート来県
7.安全対策・危機管理対策
8.医療救護対策
9.宿泊
10.交通（輸送）
12.観光・文化

（参考）推進スケジュール

		H29(2017)年度／4年前	H30(2018)年度／3年前
全体スケジュール		●開催地実行委員会設置 [illegible] ●競技日程決定 ●会場会場決定	●広報コンセプト決定
IMGA承認事項		●IMGA会場視察開催	●テクニカルデリゲート来日
12.広報			
	組織	広報戦略及び広報計画の見直し、各開催地広報計画の作成に関する調整	
	実行	地域スポーツ振興を目的としたスポーツ関連の開催等の企画・運営・広報	
	共通	大会情報発信・周知	
	共通	ネットワーク構築	
	共通	海外広報展開	
	共通		開催地一体感の創出
	共通		国、企業、団体との連携
13.知的財産の活用と保護			
	共通	知的財産の使用許諾・管理・保護	
	共通	ブランドアイデンティティの活用	
14.企業・団体協賛			
	組織	第1段協賛スポンサーセールス	
	実行	独自協賛セールス	
	共通	第2段協賛募集開始	
15.ボランティア			
	組織	ボランティア募集計画の作成	
	組織	大学連携事業・ボランティア機運の醸成実施	
	実行	連携組織と関係構築（地域団体・学校・企業等）	
	共通		配置計画及び募集要項の作成
	共通		募集計画を元に勧誘依頼開始（地域団体・学校・企業等）
16.言語サービス			
	共通	業務内容ごとに協同作業をすすめる。必要に応じて、連絡協議会の場において連携・調整を行う	
17.財政			
	組織		組織委員会収支計画の策定

（参考）推進スケジュール



海外ボランティア募集
配置計画の見直し・プログラム作成
配置作業・通知作業・研修実施
個人ボランティア募集
研修マニュアルの作成
参加料金決定
組織委員会解散プロセスの実行

大会マスコット「スフラ」
Sufula

～スポーツ・フォー・ライフの開花～
The Blooming of Sport for Life

一般財団法人関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会

〒530-6691　大阪市北区中之島6-2-27　中之島センタービル23階
TEL　06-6446-2021
FAX　06-6445-8541
URL　http://www.wmg2021.jp/
Facebook　http://www.facebook.com/wmg2021